

今回平和行動に初めて参加させて頂き、改めて被爆地長崎の歴史や大変な被害と復興について学ぶことができました。

なかでも一番印象的だったのは、初めて被爆者の生の声を聞かせて頂いた事です。被爆体験者は高齢化が進みその体験を生の声として後世に伝える事が難しくなっていく状況に戦後77年の長さを感じ、労働組合がなぜ反戦平和の運動を支援し積極的に参加しなければならないのか、今新たな核の脅威が広がりつつある中で一人一人が今何ができるのかを考えさせられました。

また戦争に無関心な若者が多い中、高校生平和大使の活動を知り、平和への活動を少しでも職場・地域で紹介し、広げることが重要だと感じました。核兵器の脅威や戦争の悲惨さに心を打たれ「平和の尊さ」を強く感じるなかで、残念なことにその想いも時が経つにつれて少しずつ薄れていく。それが、風化なのだろうと思ったと同時に、この平和行動を続けることの重要性を感じる事ができました。

ピースウォークでは連合長崎青年委員会・女性委員会によるピースガイドの案内で爆心地や平和公園などを見学し、今なお残る戦争の爪痕や原爆投下後の悲惨な写真を目の当たりにしました。

今回の平和行動で感じたことを職場や家庭に持ち帰り、組合活動や地域活動に生かし戦争の無い平和の大切さ有難さを伝えていきたいと思えます。

2日間とても貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。(Yさん)

2022連合平和行動in長崎

参加者からの

ピースメッセージ

連合の平和行動に参加させていただき、初めて長崎の地を訪れさせていただきました。

被爆体験者様の貴重な体験談を聞かせていただき、多くの尊い命が失われた戦争と原子爆弾は、我々今を生きる者が目を背けてはいけないことだと改めて思いました。

戦争を起こすのも人、止められるのも人です。

小さな事かもしれませんが、今回の平和行動で知る事が出来た、『戦争』『原爆』そして『平和』について、家庭や職場であらためて伝えて行きたいと思いました。

核兵器を用いた『戦争』が二度とおきないように、様々な人達が『平和』について語れるようになる事が、私たちにできることだと思いました。

また、長崎の連合の仲間達には、暑い中を案内や説明などしていただき、本当にありがとうございました。(Kさん)

今回、初めて「平和行動in長崎」に参加させていただきました。決して大袈裟では無く、人生観が変わる位の旅でした。特に、連合平和長崎集会での被爆者、三瀬清一郎さんの体験談は情景が思い出され、いたたまれない気持ちになりました。改めて戦争の悲惨さ、恐ろしさを思う次第です。やはり、実際体験された方の言葉は重く、忘れる事の無い体験となりました。そんな中、ユース代表団および高校生平和大使の言葉が心強くありました。ロシアのウクライナ侵攻から、日本も核武装論が取り沙汰される様になりましたが、自分は核軍縮を訴え続けていこうと意を固めました。

また、翌日のピースウォークでは現地のガイドさんの話が聞くことができ、より深く原爆の恐ろしさ悲惨さを思い知ることとなりました。コロナの影響などで式典には参加出来ませんでした。機会があれば是非とも式典に参加したいと強く思いました。その後、長崎原爆資料館では最初から最後まで目を覆いたくなる惨状を目の当たりにし、77年前に事実としてあった事を信じたくない気持ちになったと共に絶対に戦争はいけないと改めて痛感しました。他の見学されている方々に注目してみると、子供連れが多く、真剣な目で見学してみえて心強く感じました。

核兵器は勝つも負けるも無い。

辛い思いだけが残る。

核兵器の無い世の中にしていきたいと本当に強く思いました。

今回の平和行動に残念ながら2名参加できませんでしたが、普段話すことの無い他組織の方々と交流を持てたのは良い経験になりました。

2日しかありませんでしたが、それぞれの苦労など何う事が出来たのは大変有意義な時間でした。

今回の日程で密かに楽しみにしていた軍艦島ミュージアム。思っていたよりも内容が濃く、大満足でした。昭和の良き時代、勢いのある時代にタイムスリップしたような感覚になり、非常に楽しめました。今度、必ず現地に行きたいと思います。

長崎は、キリスト教のイメージがありますが、グラバー園や出島を見学して昔から外交が盛んな所だと実感しました。50年近く生きて来ましたが、まだまだ知らない事ばかりと痛感し、より日本という国に興味を沸かせてきました。

今回このような機会をいただき大変感謝すると共に、多くの組合員に平和の尊さを伝えて行きたいと強く思います。(Mさん)



今回平和行動に参加させて頂き、戦争の恐ろしさを改めて痛感致しました。

被爆体験者の方の話を聞いて、どうか次の世代もその先も原子爆弾の恐ろしさを語り継いでほしいと強く訴えておられたときは、私の心にも響くものがありました。

今現在、世界ではあってはならない戦争が起こっています。今も怯えながら身を潜めている子どもたちや、戦争によって大切な人を失った人たちが沢山いることを考えると心が痛いです。

日本においては、戦争を過去の終わった出来事だと捉えず、今一度、皆が向き合って長崎や広島のようにならないよう考えていかなければならないと思いました。

今回貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

かなり暑く、皆さんもばてたのではないかと思います。自分は足が棒になって年齢を感じました。本当にお疲れ様でした。また皆さんとどこかでお会いできたら嬉しく思います。

この2日間大変お世話になりました。勉強になり、楽しかったです。(Kさん)

原爆犠牲者追悼

